

1 平成 29 年度予防接種事業について

(1) 平成 29 年度定期予防接種の接種状況

ア 目的

予防接種法に基づき、接種機会を安定的に確保するとともに、一定の接種率を確保することで、市民全体の免疫水準を維持し、感染症のまん延を防止する。

イ 予防接種被接種者数

| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|------------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| BCG | 572 | 718 | 729 | 694 | 681 |
| 不活化ポリオ | 903 | 376 | 64 | 41 | 21 |
| 三種混合 | 782 | 156 | 2 | 0 | 0 |
| 4 種混合 | 2,103 | 2,716 | 2,983 | 2,860 | 2,697 |
| 二種混合 | 569 | 551 | 564 | 576 | 584 |
| MR 混合 1 期 | 703 | 724 | 712 | 722 | 702 |
| MR 混合 2 期 | 619 | 646 | 714 | 708 | 746 |
| 麻しん | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 風しん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 日本脳炎 1 期 | 2,499 | 2,401 | 2,331 | 2,216 | 2,541 |
| 日本脳炎 2 期 | 321 | 386 | 381 | 656 | 732 |
| ヒブ | 3,073 | 2,822 | 2,987 | 2,822 | 2,355 |
| 小児用肺炎球菌 | 2,891 | 2,793 | 2,985 | 2,810 | 2,646 |
| 子宮頸がん予防 | 87 | 5 | 3 | 0 | 3 |
| 水痘 | - | 1,377 | 1,563 | 1,449 | 1,360 |
| B 型肝炎 | - | - | - | 2,106 | 1,945 |
| 高齢者インフルエンザ | 4,119 | 4,469 | 4,580 | 4,794 | 4,786 |
| 高齢者肺炎球菌 | - | 627 | 338 | 457 | 745 |

単位: 人

※ 水痘は、平成 26 年 10 月から定期接種した人数。

※ 高齢者肺炎球菌は、平成 26 年 10 月から定期接種した人数。

※ B 型肝炎は、平成 28 年 10 月から定期接種した人数。

ウ BCG・ポリオ・三種混合の3歳時点での接種率（平成29年度末時点）

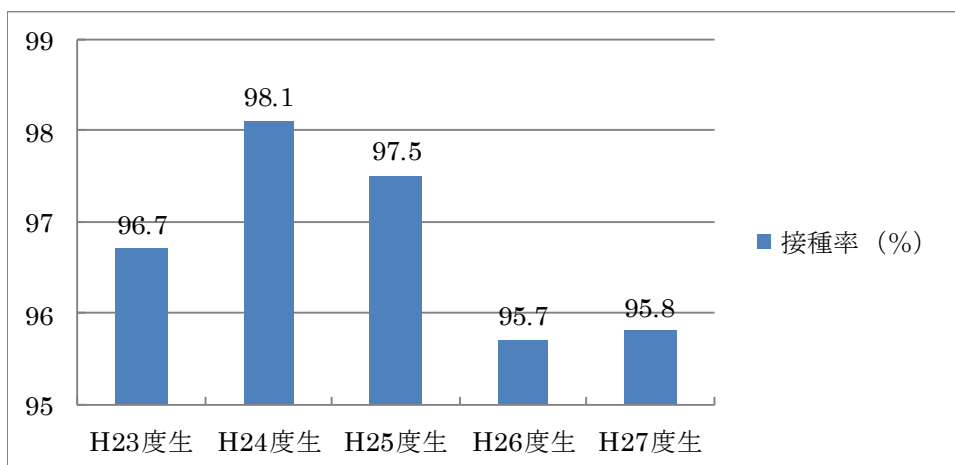
| | | H22年 生まれ | H23年 生まれ | H24年 生まれ | H25年 生まれ | H26年 生まれ |
|---------------------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| BCG | | 97.7 | 95.1 | 97.7 | 97.3 | 96.7 |
| ポリオ (生・不活化・ 4種混合含む) | 1回目 | 96.3 | 98.3 | 97.8 | 97.8 | 98.4 |
| | 2回目 | 94.5 | 96.4 | 98.1 | 97.4 | 97.9 |
| | 3回目 | | 96.8 | 98.1 | 97.6 | 97.6 |
| | 追加 | | 86.7 | 94.8 | 94.7 | 94.8 |
| 三種混合 (4種混合含む) | 1回目 | 98.2 | 98.1 | 98.0 | 97.9 | 98.1 |
| | 2回目 | 98.0 | 97.5 | 98.0 | 97.5 | 97.6 |
| | 3回目 | 96.7 | 97.2 | 98.0 | 97.8 | 97.5 |
| | 追加 | 94.5 | 95.1 | 95.4 | 94.8 | 95.2 |

単位：％

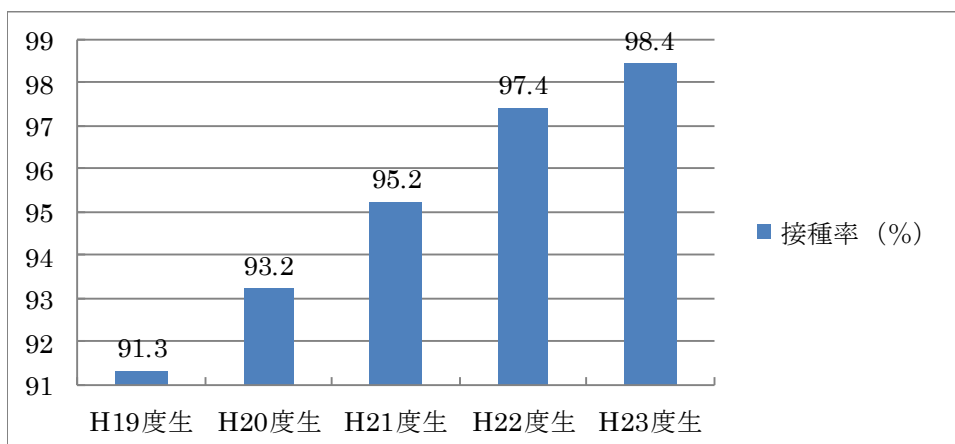
※ 平成24年9月からポリオが生ワクチンから不活化ワクチンへ変更、平成24年11月から4種混合が定期接種に追加されたため、平成23年生まれから接種率の分類区分を変更した。

※ 4種混合には、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオが含まれているため、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）とポリオの両方に計上した。

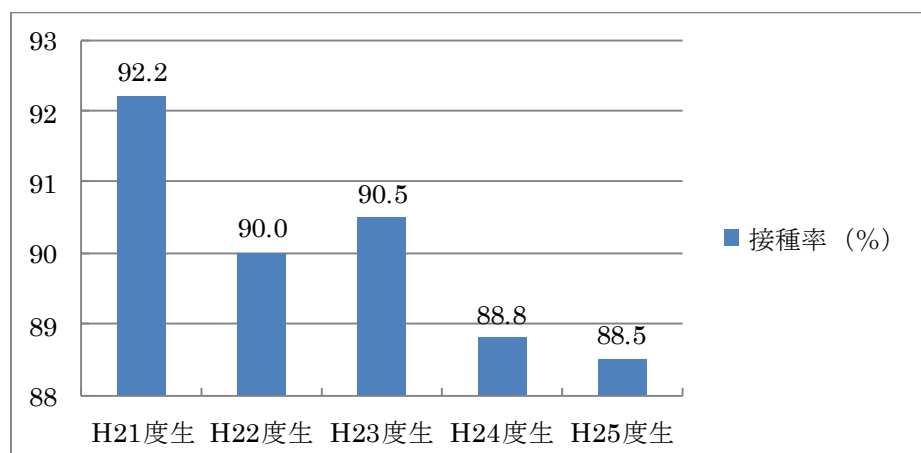
エ 麻疹及び風しんⅠ期の2歳時点での接種率（平成29年度末時点）



オ 麻疹及び風しんⅡ期の6歳時点での接種率（平成29年度末時点）



カ 日本脳炎第1期1回目の接種率（平成29年度末時点）



キ 取組

標準年齢にて接種を行うことができるようにその時期の乳幼児健診時に個別勧奨を行い、接種時期が限られている予防接種については、個別勧奨の通知を行って、接種漏れがないように努めていく。

(2) 愛知県広域予防接種事業

ア 目的

平成26年度から実施。接種を希望する方が住民登録している市町村以外にある医療機関でも定期予防接種を受けることができるようにする制度。接種される方の身体状況を日ごろから把握しているかかりつけ医による予防接種を推進し、予防接種率の向上や健康被害の防止を図る。

イ 対象者

- (ア) 市外にかかりつけ医がいる人
- (イ) 長期に入院治療を要し、市内医療機関での接種が難しい人
- (ウ) 母の里帰り出産や家庭内暴力等の理由により市外に滞在している人
- (エ) その他市長が対象と認めた人

ウ 申請件数

| 区分 | 子ども | | 高齢者 | |
|---------------|---|-------|--|-------|
| 件数 | 382 件 | | 187 件 | |
| 理由 | かかりつけ 370 件 里帰り 3 件 海外渡航 3 件 その他 6 件 | | かかりつけ 86 件 長期入院治療 21 件 高齢者施設入所 75 件 その他 5 件 | |
| 希望先 上位5自治体 | 名古屋市 | 287 件 | 名古屋市 | 134 件 |
| | 日進市 | 44 件 | 瀬戸市 | 25 件 |
| | 豊田市 | 26 件 | 尾張旭市 | 19 件 |
| | 尾張旭市 | 7 件 | 豊田市 | 2 件 |
| | 瀬戸市 | 9 件 | 春日井市 | 1 件 |
| | その他 | 9 件 | その他 | 6 件 |

エ 被接種者数（広域予防接種のみ再掲）

| | H26 | H27 | H28 | H29 |
|------------|-----|-------|-------|-------|
| BCG | 3 | 2 | 9 | 7 |
| 不活化ポリオ | 5 | 2 | 4 | 0 |
| 三種混合 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 種混合 | 68 | 240 | 310 | 275 |
| 二種混合 | 1 | 5 | 6 | 6 |
| MR 混合 1 期 | 10 | 62 | 87 | 74 |
| MR 混合 2 期 | 7 | 18 | 17 | 25 |
| 日本脳炎 1 期 | 35 | 76 | 158 | 177 |
| 日本脳炎 2 期 | 1 | 7 | 9 | 11 |
| ヒブ | 72 | 253 | 300 | 266 |
| 小児用肺炎球菌 | 71 | 251 | 305 | 268 |
| 子宮頸がん予防 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 水痘 | 23 | 113 | 160 | 140 |
| B 型肝炎 | - | - | 100 | 200 |
| 高齢者インフルエンザ | - | - | 90 | 153 |
| 高齢者肺炎球菌 | - | - | 7 | 17 |
| 合計 | 299 | 1,029 | 1,562 | 1,619 |

単位：人

B 型肝炎は平成 28 年 10 月から定期予防接種に追加され、広域も同時に追加。
 高齢者インフルエンザと高齢者肺炎球菌は平成 28 年 4 月から広域に追加。

オ 取組

かかりつけ医による予防接種を推進するため、乳幼児健診等で愛知県広域予防接種事業について周知を行っていく。

(3) 県外等予防接種費助成金事業

ア 目的

平成 29 年度から実施。入院や施設入所、里帰り出産等で委託医療機関及び愛知県広域予防接種指定医療機関での接種が困難である場合、委託及び指定医療機関以外での定期予防接種の接種費用を市が助成する。

イ 助成方法

助成を希望する者は事前に市へ申請の手続きを行い、市が対象者と認定した場合は、被接種者またはその保護者が希望する医療機関での接種を行う。市は償還払いにより被接種者またはその保護者へ支払いをする。

ウ 申請件数

| 区分 | 子ども | 高齢者 |
|----|---------------------------|----------|
| 件数 | 26 件 | 2 件 |
| 理由 | 里帰り 24 件 一時的に実家に滞在 2 件 | 施設入所 2 件 |

エ 被接種者数（県外予防接種のみ再掲）

| | H29 | | H29 |
|-----------|-----|------------|-----|
| BCG | 1 | ヒブ | 20 |
| 不活化ポリオ | 0 | 小児用肺炎球菌 | 20 |
| 三種混合 | 0 | 子宮頸がん予防 | 0 |
| 4 種混合 | 12 | 水痘 | 1 |
| 二種混合 | 0 | B 型肝炎 | 18 |
| MR 混合 1 期 | 0 | 高齢者インフルエンザ | 1 |
| MR 混合 2 期 | 0 | 高齢者肺炎球菌 | 0 |
| 日本脳炎 1 期 | 1 | | |
| 日本脳炎 2 期 | 0 | | |
| 合計 | | | 74 |

単位：人

(4) 任意高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成事業

ア 目的

平成 21 年度から実施。平成 26 年 10 月から高齢者肺炎球菌が定期接種に追加されたが、定期接種の対象者以外の年齢の者も接種を受けることができるように、事業を継続。今年度で終了。

イ 平成 21 年 4 月から平成 26 年 9 月まで

(ア) 対象者

- ・ 70 歳以上
- ・ 60 歳以上で特定の身体状況にあり、医師が必要と判断した人

(イ) 助成方法

申請により接種費用の一部として、接種前に 3,000 円の補助券を交付又は接種後 3,000 円を償還払いにて助成。ただし、生活保護世帯の人には、接種費用の全額を助成。

ウ 平成 26 年 10 月以降

(ア) 対象者

65 歳以上で定期接種対象者に該当しない人。ただし接種歴のある人は除く。

(イ) 助成方法

自己負担額 2,500 円（定期接種と同額）。ただし、生活保護世帯の人には、接種費用の全額を助成。

エ 助成件数

| 年度 | 70 歳以上 | 60～69 歳 | 合計 |
|--------------|--------|---------|-----|
| H25 | 271 | 18 | 289 |
| H26.4～9 | 38 | 8 | 46 |
| 年度 | 65 歳以上 | | 合計 |
| H26.10～H27.3 | 592 | — | 592 |
| H27 | 214 | — | 214 |
| H28 | 182 | — | 182 |
| H29 | 133 | — | 133 |

単位：件

オ 取組

国の経過措置までに多くの方が接種できるように、周知啓発のため、市内医療機関でのポスターの設置、対象者が集まる場所等で健康教育を行っていく。

(5) 風しん対策事業

ア 目的

平成 24 年の風しん流行以降、先天性風疹症候群の発生を集団防衛することを目的に実施。平成 29 年度も継続事業とした。

イ 抗体検査費助成

(ア) 対象者

- ・妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性 →愛知県事業
 - ・妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性 →長久手市事業
 - ・妊娠を予定又は希望する女性の夫 →長久手市事業
 - ・妊娠中の女性の夫 →長久手市事業
- ただし妊娠中の者、風しん罹患者、過去にワクチン接種歴があるものは除く

(イ) 助成額と回数、方法

検査費用全額、1 人 1 回、償還払い

ウ ワクチン接種費助成

(ア) 対象者

抗体検査を受けた結果、医師により抗体が不十分と判断された人で、

- ・妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性 →長久手市事業*
- ・妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性 →長久手市事業
- ・妊娠を予定又は希望する女性の夫 →長久手市事業
- ・妊娠中の女性の夫 →長久手市事業

(イ) 助成額と回数、方法

ワクチン接種費用全額、1 人 1 回、償還払い

※妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性の対象については、県補助金あり（県補助額 1 回上限 2,500 円）

エ 申請件数

| 対象者 | 抗体検査 | | | ワクチン接種 | | |
|----------------------|------|-----|-----|--------|-----|-----|
| | H27 | H28 | H29 | H27 | H28 | H29 |
| 妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性 | / | / | / | 14 | 16 | 10 |
| 妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性 | 15 | 12 | 8 | 18 | 21 | 19 |
| 妊娠を予定又は希望する女性の夫 | 29 | 18 | 23 | 9 | 7 | 9 |
| 妊娠中の女性の夫 | / | 11 | 8 | / | 1 | 2 |
| 合計 | 44 | 41 | 39 | 41 | 45 | 40 |

単位:件

オ 取組

先天性風疹症候群の発生を集団防衛するため、ホームページで風疹について、風疹の流行状況について情報提供、助成の方法について周知を行っていく。

(6) 予防接種間違い報告

ア 発生件数

| 年度 | 発生件数 |
|----------|------|
| 平成 27 年度 | 2 件 |
| 平成 28 年度 | 2 件 |
| 平成 29 年度 | 5 件 |

イ 発生要因（平成 29 年度）

| 間違いの内容 | ワクチン | 間違いの件数 |
|---------|-------|--------|
| 対象年齢前接種 | 4 種混合 | 2 件 |
| 対象年齢前接種 | 日本脳炎 | 2 件 |
| 接種間隔不足 | ヒブ | 1 件 |

2 平成 30 年度予防接種事業について

(1) 平成 30 年度定期予防接種の接種状況（平成 30 年 7 月末現在）

ア 被接種者数

| | H30.4～7 月 |
|------------|-----------|
| BCG | 213 |
| 不活化ポリオ | 6 |
| 三種混合 | 0 |
| 4 種混合 | 860 |
| 二種混合 | 263 |
| MR 混合 1 期 | 268 |
| MR 混合 2 期 | 484 |
| 麻疹 | 0 |
| 風疹 | 0 |
| 日本脳炎 1 期 | 840 |
| 日本脳炎 2 期 | 339 |
| ヒブ | 851 |
| 小児用肺炎球菌 | 856 |
| 子宮頸がん予防 | 0 |
| 水痘 | 481 |
| 高齢者インフルエンザ | 0 |
| 高齢者肺炎球菌 | 385 |

単位：人

イ 対象者への周知方法及び未接種者への勧奨方法

| ワクチンの種類 | 方法 |
|--------------------|--|
| ヒブ・小児用肺炎球菌 B型肝炎 | 生後2か月到達の前月末に個別通知、各種健診時 |
| 4種混合 | 生後3か月到達の前月末に個別通知、各種健診時 1歳到達の前月末に個別通知(麻しん及び風しん、水痘の通知に追加分について追記) |
| BCG | 3～4か月児健診時に配布、生後9～11月の未接種者に電話 |
| 麻しん及び風しん | 第1期:1歳到達の前月末に個別通知、各種健診時 第2期:前年度末に個別通知、7月、12月、2月に未接種者へ個別通知 |
| 水痘 | 1歳到達の前月末に個別通知、各種健診時 |
| 日本脳炎 | 第1期:3歳児健診案内に同封し、個別通知、各種健診時 第2期:9歳到達の月末に個別通知 (平成19年4月1日以降生まれの児) 国が示す対象年齢(今年度は18歳)へ、前年度末に個別通知 |
| 子宮頸がん予防 | 個別通知なし。接種勧奨の差し控え中。 |
| 二種混合 | 前年度末に個別通知、7月、12月、2月に未接種者へ個別通知 |
| 高齢者インフルエンザ | 前年度接種者へ9月末に個別通知 |
| 高齢者肺炎球菌 | 国が示す65歳の対象年齢及び経過措置の対象者へ4月末に個別通知 |

(2) 定期予防接種費助成事業

申請件数 (平成30年7月末現在)

| | |
|----|-----------------------|
| 件数 | 17件 |
| 理由 | 里帰り15件 一時的に実家に滞在2件 |

(3) 愛知県広域予防接種事業

申請件数（平成 30 年 7 月末現在）

| 区分 | 子ども | 高齢者 |
|----|------------------------|-----------|
| 件数 | 134 件 | 9 件 |
| 理由 | かかりつけ 131 件 その他 3 件 | かかりつけ 9 件 |

※申請数が年々増加しており、迅速な対応を行うため、事務効率化を目的にシステム改修を行った。

(4) 風しん対策事業

申請件数（平成 30 年 7 月末現在）

| 対象者 | 抗体検査 | ワクチン接種 |
|----------------------|------|--------|
| 妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性 | | 6 件 |
| 妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性 | 7 件 | 8 件 |
| 妊娠を予定又は希望する女性の夫 | 15 件 | 6 件 |
| 妊娠をしている女性の夫 | 8 件 | 3 件 |
| 合計 | 30 件 | 23 件 |

※8 月に愛知県から風疹の流行について通知があり、周知啓発のため、8 月末にホームページに掲載した。

(5) 任意高齢者肺炎球菌ワクチン接種費助成事業

助成件数（平成 30 年 7 月末現在）

| | 65 歳以上 | 合計 |
|---------------|--------|-------|
| H30. 4～H30. 7 | 114 件 | 114 件 |

※助成の最終年度となるため、6 月末に個別に勧奨通知を発送した。

(2, 127 人)

(6) 麻しんの流行時の対応

4/11 愛知県にて麻しんの発生（10 代男性）

4/27 麻しんの流行についてホームページに掲載

5 月 保健所と管内の麻しん患者の情報について連絡を取り合った。
保健所から麻しん患者が市内の店舗に来店したとの情報があったため、頻繁に連絡を取り合い、情報収集に努めた。

7/9 終息宣言

(7) インフルエンザ対策

乳幼児には健診時にインフルエンザ予防のチラシを配布している。
高齢者には集団で集まるような場所等で、インフルエンザ予防、予防接種について、健康教育を行っている。